

# 平成 28 年度 第 3 回大阪地方会 活動報告

平成 28 年 11 月 12 日 (土)

於：大阪労災病院 管理棟 3 階 大ホール

平成 28 年 11 月 12 日 (土) 大阪労災病院 管理棟 3 階大ホールにて、第 3 回大阪地方会を開催しました。当日は会員 18 名、非会員 29 名の合計 47 名の方にご参加いただくことが出来ました。初めて参加いただいた方も多く、大阪府以外の遠方からも多く参加いただき大変感謝しております。

始めに、大阪労災病院 副院長で外科部長の長谷川順一先生からご挨拶いただきました。

長谷川先生からは、医師事務作業補助者の皆さんのおかげで医師は事務処理から解放されている。特に書類作成やデータ管理においては、なくてはならない存在であり、皆さん方が知識向上を目指しこのような勉強会に参加していることは非常に頼もしい限りで、今後の皆さんの更なる活躍を期待していますとのあたたかいお言葉をいただきました。



続いて、『医師事務作業補助者のための「胃がんの話」～診断から治療まで～』と題して、大阪労災病院 消化器外科 副部長 川端良平先生よりご講演いただきました。

現在の胃がん事情から始まり、検査・診断から治療方針の決定までの流れ、内視鏡的治療、手術、化学療法と詳しく、分かりやすいお話でした。

今後ガイドラインが変更される予定であること、化学療法ではライフスタイルに合わせて治療が選択できること、患者さんに寄り添った治療へと進化していることがよく理解できました。また、胃がんのステージ分類についても詳しくお話いただき、書類作成における注意点も盛り込まれ、医師事務作業補助者にとって日常業務に即活用でき、知識の向上につながったご講演でした。

15 分の休憩をはさみ、1 グループ 7～8 名のグループにわかれ『書類作成時に困っている点、注意している事』『診療時の支援内容、困っている点』『取り扱いデータの内容、データの活用』『マニュアルの内容、留意点』『日常業務で困っている点』というテーマでグループディスカッションを行い、最後に内容を発表していただきました。

書類作成の支援業務からは、介護主治医意見書の作成支援にあたり、介護度に影響を及ぼすため正しい情報を如何に得るかが重要で、患者さんの状態の確認手段が課題となって

いる医療機関が複数ありました。

アンケートからは、ディスカッションで他の医療機関の問題点や取り組み等、聞いた事を自院に持ち帰り今後活かしていきたいというご意見をいただきました。そのことから参加いただいた実務者の方にとって有意義な時間である事がうかがえます。



今後も、多くのネットワークを築いていただけるディスカッションにしていきたいと思っています。

最後に、大阪府支部の西川支部長より、地方会を重ねるごとに皆様から寄せられる問題や課題は、高度かつ専門的になってきている。実務者がこのような場で情報交換を行い、交流を深めることが、お互いの成長につながり、そして医師事務作業補助の発展につながるのだと強く感じる。今後の発展のために、是非皆様に会員になっていただきたいと熱い思いが語られました。

医師事務作業補助の実務者の方々の更なる成長を目指して活動を行ってまいりますので、今後共ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、今回の地方会にご参加いただきました皆様、準備段階からご協力いただきました全ての皆様方に、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。

NPO 日本医師事務作業補助研究会  
大阪府支部 副支部長 事務局  
府中病院 堀田 恵